

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 15 日作成)

委員会名	補強組積造性能評価型設計指針作成小委員会	主 査 名： 松村 晃
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (壁式構造運営委員会)	委員長名： 西川 孝夫 主 査 名： 平石 久廣
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>〔目的〕 各種の補強組積造（型枠コンクリートブロック造、補強コンクリートブロック造、各種れんが・セラミックブロック造など）の性能評価型設計指針を作成する。</p> <p>〔年度活動計画〕</p> <p>2001 年度：設計指針原案作成 2002 年度：指針案および解説原案の作成 2003 年度：解説案の作成 2004 年度：指針および解説の執筆、刊行</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>主査：松村 晃（神奈川大学） 幹事：加村隆志（日本工業大学） 信澤宏由（前橋工科大学） 委員：五十嵐泉（神奈川大学） 植松武是（北海道立北方建築総合研） 大和田義正（芝浦工業大学） 菊池健児（大分大学） 窪田敏行（近畿大学） 清水泰（東工大付属工高） 棚橋弘（穂積コンクリート） 浪田裕之（構造計画研究所） 西山光昭（日本工業大学） 根井浩（科学技術振興機構） 前田敏雄（前田建築構造事務所）</p>	
設置 WG (WG 名:目的)	なし	
2003 年度予算	372,000 円	

項 目	自己評価	
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年 4 月 25 日 5 名 2003 年 6 月 25 日 7 名 2003 年 8 月 25 日 7 名 2003 年 10 月 6 日 7 名 2003 年 11 月 17 日 8 名	2003 年 12 月 17 日 5 名 2004 年 1 月 19 日 7 名 2004 年 2 月 27 日 7 名 2004 年 3 月 29 日 8 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>従来、この構造は解析が難しいため、本会の設計規準は略算的・経験的な手法により安全を確保する規定で構成されている。この規準に従って設計すれば、耐震上安全は確保されるが、個々の建物の保有性能レベルを評価することはできずであった。この委員会で作成しようとする指針は、需要者の要求度に応じた性能の構造設計を可能にすることを目指しており、その結果、無駄なく効率的な建築活動が社会に期待できることになろう。</p> <p>HP には、小委員会の組織を公開</p> <p>委員会 HP アドレス：http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s5/organ/organ.html</p>	
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>補強組積造は壁式構造の一種で、通常の骨組構造と異なり、部材の解析は不明確な点が多い。従って、委員会活動は構造の特性とその性能評価のための基礎的な資料・文献の調査研究に多くの時間を費やした。そのため、初期 2 年間においては若干の遅滞がみられたが、計画 3 年度において、指針の骨格が得られ、各条文・解説の作成など軌道に乗りつつある。</p>	
その他評価すべき事項		